

## ■ 大手カジュアル専門店の動向 (1)

※敬称略、順不同  
2018.3. 現在

### 【1】 コックス

最近決算年商 209.9億円  
同営業利益 △1.6億円

(次期予想) 18年2月  
売上 220億円  
営業利益 1.9億円  
店舗数 258店舗  
2017年8月

**主力の「イッカ」、「LBC」、「VENCE EXCAHANG」  
ともに売上低迷も、SPA（直接貿易）化で利益率は改善**

- ・eコマースでは自社運営サイトは増収、今後はこのサイトの増強を図る方針。
- ・出店はイッカラウンジ、LBC、VENCE中心に郊外から都市圏へ。
- ・2018年2月期には期中新規出店10店の増販効果を見込む。  
引き続き「SPA改革の推進」「商品消化管理精度の向上」に取り組む。

### 【2】 ジーンズメイト

最近決算年商 91.9億円  
同営業利益 △8.3億円

(次期予想) 18年2月  
売上 115.5億円  
営業利益 プラス3億円  
店舗数 87店舗  
2017年8月

**RIZAP社の支援もあり、今期（2018年2月）で  
念願の黒字復帰実現も視野**

- ・今期第2Q（2017年6～8月）単独では営業利益+1.7億達成
- ・「JEANMATE」ブランドイメージ刷新効果もあり今期は既存店客数、単価とも上昇中。
- ・商品としては「ゼロステイン」（シミ防止シャツ）好調推移実績。
- ・不採算路面店舗閉鎖の一方で、今後はSC型テナント出店へ。
- ・24時間営業店は撤退し、人件費効率を図る。

### 【3】 マックハウス

最近決算年商 337.3億円  
同営業利益 6.2億円

(次期予想) 18年2月  
売上 316億円  
営業利益 6.2億円  
店舗数 421店舗  
2017年8月

**前期は路面「既存店」中心に昨対割れ  
今後大型SC中心の出店で巻き返しを図る方向**

- ・大型業態「マックハウススーパーストア」と「マックハウス・スーパーストア・フューチャー」（現在計42店舗）は貢献度大。
- ・PBブランド「NAVY」、「Nyans World」、「ZooMac」も好調、さらに伸ばす予定。
- ・接客力に優れた「スター販売員」の存在の評価は業界一とも。

### 【4】 ライトオン

最近決算年商 800.8億円  
同営業利益 △28億円

(次期計画) 17年8月  
売上 800億円  
経常利益 15.5億円  
店舗数 513店舗  
2017年8月

**赤字転落の主因は前期からの持越し在庫処分  
（約40億円過剰）の見切りロス**

- ・今後は先行在庫投資方式から短期型発注へシフトする。
- ・引き続きNBブランドジーンズは重視方針。
- ・一方PBの「MOCO MOCO JEANS」シリーズに新機能を加えて進化させる。
- ・eコマースは年率約50%の売り上げ増を実績。
- ・1,000億狙う中期計画は18年中に再検討して発表予定。

### 【5】 ファーストリテイリング **国内ユニクロは微増収（1%）も利益は減少（-6%） 人件費中心に販管費の圧縮もならず。**

(全世界ベース2017年8月)  
年商 1兆8,919億円  
同営業利益 1,764億円  
(その内国内ユニクロ)  
年商 8,107億円  
営業利益 959億円  
国内店舗数 831店  
2017年8月

- ・ユニクロ業態の国内対海外の比率は売上国内53：海外59、営業利益47：43、店舗数43：57。  
同業態の海外出店(特に中国などアジア)への投資は継続か。
- ・次期（18年8月決算予想）  
全事業の売上 2兆500億円、営業利益 2,000億円へ。
- ・その内国内ユニクロの2018年8月は微増収、微増益を見込む。
- ・「GU」直近はヒット商品少なく、利益は不振。今期に反転改善期待。

## ■ 大手カジュアル専門店の動向（2）

※敬称略、順不同

### 【6】しまむら

最近決算年商	5,655億円
同営業利益	487億円
(次期予想) 18年2月	
売上	5,930億円
営業利益	512億円
店舗数	2,066店舗
	2017年8月

さらに国内市場の深耕ねらうも、  
婦人層の通販購買への移行もあり成長率鈍化懸念も

- ・主要業態売上と店舗数（2017年2月実績）
 

しまむら（中高年婦人）	4,519億円	1,365店
アベイル（若年婦人）	503億円	301店
バースデイ（幼児）	468億円	240店
サンプル（雑貨）	95億円	96店
- ・海外店舗の台湾（42店）は横ばい、上海（11店）は減収傾向。

### 【7】ハニーズ

最近決算年商	545億円
同営業利益	23.4億円
18年5月予想	
売上	535億円
営業利益	27億円
店舗数	861店舗(国内)
	海外店舗含むと1,179店舗
	2017/11現在

国内は順調も、中国不振大苦戦続く  
中国は現地資本の安値競合店の攻勢に劣性

- ・中国の大量退店は今後も続く、全体への影響必至。
- ・生産の中国比率は過去4年間で83%から29%へ激減。  
ミャンマー、バングラ計で52%を占める。

### 【8】パル

最近決算年商	1,165億円
同営業利益	62億円
(次期予想) 18年2月	
売上	1,238億円
営業利益	80億円
店舗数	911店舗
	2017年8月

直近半期で利益効率回復、通期も見通し良好

- ・伝統業態「チャオパニック」の新規リフレッシュ店舗  
「チャオパニックカントリーモール」（ヴィンテージ嗜好）を原宿  
にオープンさせた。
- ・大阪瀧定から「オリーブ・デ・オリーブ」（49億、45店）を買  
収。
- ・eコマースは続伸、18年8月期には約100億確実、さらに2020  
年には2,000億を視野に入れる。

### 【9】パレモ

最近決算年商	246億円
同営業利益	6.3億円
(次期予想) 18年2月	
売上	230億円
営業利益	7.5億円
店舗数	481店舗
	2017年8月

不採算店のスクラップを継続しながらも  
利益の回復を実現した模範例

- ・原価効率化、人件費など販管費減などで、売上減をカバー。
- ・ライフスタイル雑貨業態「木糸土」なども採算見直しと店舗調整。
- ・「直接仕入貿易」体制は確立。
- ・次期から持ち株ホールディング制決算に移行。

### 【10】アダストリアHD (ポイント)

最近決算年商	2,036円
同営業利益	149億円
(次期予想) 18年2月	
売上	2,330億円
営業利益	135億円
店舗数	1,409店舗
	2017年8月

増収も粗利益率微減、経費増で利益効率鈍化傾向

- ・主要業態別では17年8月半期、グローバルワーク昨対103%、  
ローリーズ93%、ニコアンド103%など。  
ローリーズの苦戦が目立つ。
- ・海外（中国、香港、韓国などの売上、粗利はやや苦戦。  
「ニコアンド」の台湾出店スタート。
- ・WEB、eコマース関連では会員620万人へ。（総計152億円実績）
- ・将来はアパレル以外の市場への発展を構想か？